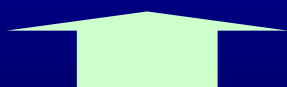


## まとめ

- ヌートリアやウシガエル、オオクチバス、ブルーギルなど特に水域を中心として特定外来生物の侵入が著しい。
- 市内にある希少な動植物の生育・生息地にも、既にそれらの生存を脅かす外来生物が侵入しており、これら希少種への影響が懸念される。
- 陸域に関しても、オオキンケイギクは市内のほぼ全域で確認されており、アレチウリやナルトサワギクなども確実に侵入しつつあることが伺える。



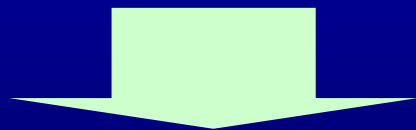
川や水路、道路づたいに分布を拡大している種が多いものと推察される。

主に水系づたいに分布を  
拡大する種

- ・ヌートリア
- ・カダヤシ
- ・ブラジルチドメグサ
- ・アレチウリ
- ・オオフサモ
- ・ボタンウキクサ など

主に道路づたいに分布を  
拡大する種

- ・セアカゴケグモ
- ・ハイイロゴケグモ
- ・ナルトサワギク など



対策には、広域的な連携が必要

# 外来生物の防除のために

## 外来生物の侵入防止

一人一人が自覚を持ち、気をつけることが重要！

- 外来生物は、人が意図的に持ち込んだことにより、分布を拡大している種も多い。



庭先に植えられたオオキンケイギク

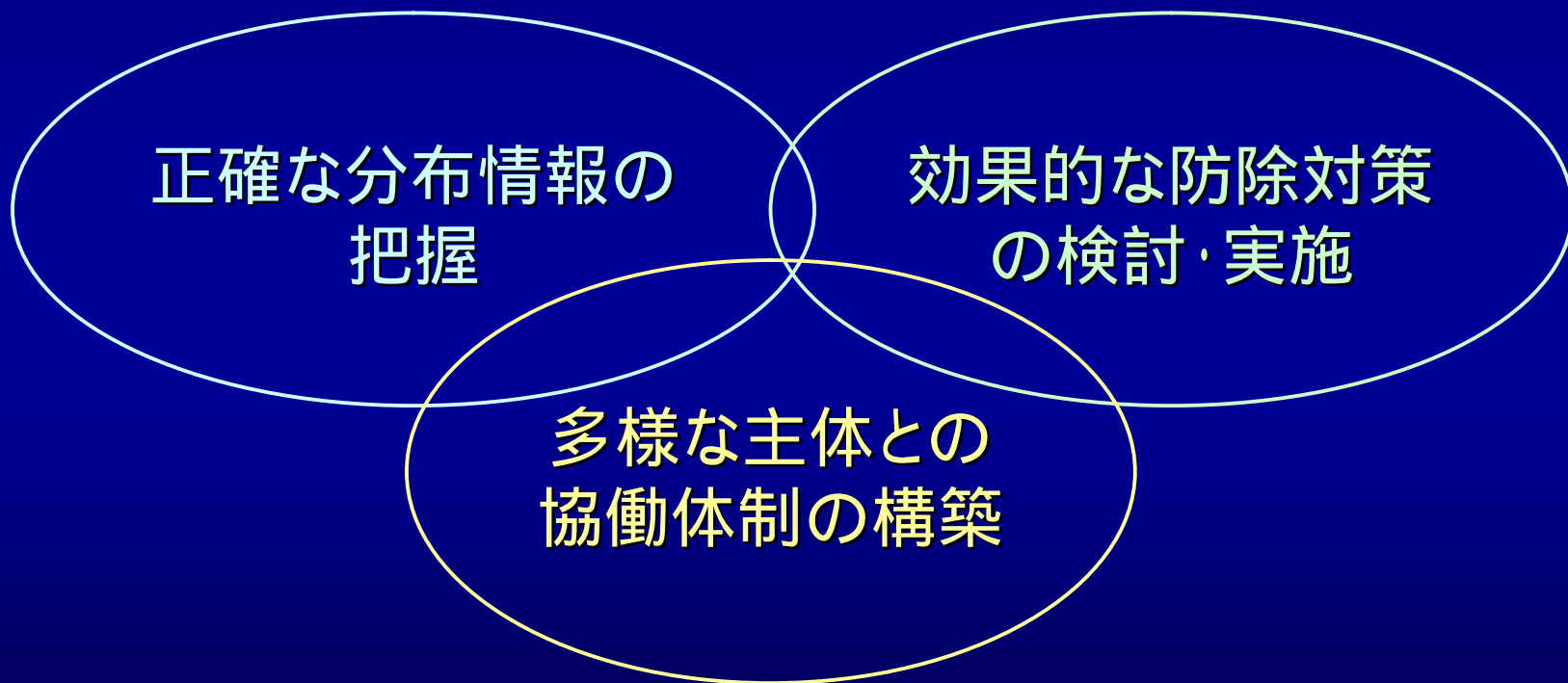
# 外来生物の分布拡大防止

## 早期発見・早期対処が重要！

- 侵入初期段階で、駆除を行うことが最も効率よく、成功率が高い。
- 既に分布が広がっている種については、駆除事業を実施しても効果が少ない場合も多い。

# 定着してしまった外来生物の駆除

長期的かつ計画的な対策の実施が重要！



市民や周辺自治体との協力がかせない！